

第十七捕虜収容所 (Stalag 17)

観賞日 2024 年 8 月 5 日 上映時間 120 分

【概要】

制作 1953 年 アメリカ
監督 ビリー・ワイルダー
脚本 ビリー・ワイルダー、エドウィン・ブラム
音楽 フランツ・ワックスマン
撮影 アーネスト・ラズロ
出演 ウィリアム・ホールデン (セフトン)、ドン・テイラー (ダンバー)
オットー・プレミンジャー (シェルバッハ)、ロバート・ストラウス (アニマル)
ハーヴェイ・レンベック (ハリー)、ピーター・グレイヴス (プライス)



【あらすじ】

第二次世界大戦も終わりに近づいた 1944 年 12 月、ドイツ南部にある第 17 捕虜収容所。第 4 棟はアメリカ空軍の軍曹ばかりを集めた棟。ある晩、第 4 棟の 2 名が脱走を試みたが待ち構えていたドイツ軍兵に発見され銃殺されるという事件が起きる。仲間たちは落胆するとともに、事件が事前に漏れていたことを重視、内部に密告者がいたとして犯人探しを始める。疑われたのはセフトン。セフトンは直前の賭けで脱走が失敗する方に賭けてまんまと大量のタバコをせしめていた。元々、セフトンは目的のためには何でもやる男で、ドイツ兵と異様に親しいことも怪しまれる理由になっていた。そして、遂に仲間のリンチに遭ってしまう。このままでは殺されてしまうと考えたセフトンは真犯人の捜索に本腰を入れ犯人を見つけ出す。ある日、第 4 棟にダンバー中尉が収容される。ダンバーもまた、密告によりドイツ軍の軍用列車爆破事件が明かされることになり、身に危機が迫る中、ダンバー救援にアメリカ兵が立ち上がる。真犯人を捕らえたセフトンが全員の前で話したダンバー救出作戦とは・・・。

名匠ビリー・ワイルダーが監督した唯一の戦争映画。

【解説】

■ポイント

●ウィリアム・ホールデン (1918 年～1981 年)

イリノイ州出身。インテリ家庭に生まれ本人も学者を目指していたが、途中で演劇に目覚め劇団に所属。1939 年「ゴールドン・ボーイ」で銀幕デビュー。4 年間の兵役を経て「サンセット大通り」で人気俳優に。その後、本作 (1953 年)、「慕情」



「ピクニック」(1955 年)、「戦場にかける橋」(1957 年) でたて続けにヒットを飛ばし、1950 年代を代表するスターとなる。1981 年、自宅内の不慮の事故で死亡。

●受賞 (1954 年第 26 回アカデミー賞)

3 部門にノミネートされ 1 部門で受賞：主演男優賞 (ウィリアム・ホールデン)

■見どころ

●アメリカ兵同士の友情と連帯

●ハリーとアニマルのコミカルな掛け合い

●主題歌「ジョニーが凱旋する時」はアイルランド出身のパトリック・ギルモアによる行進曲。

本作以外にもいろいろな映画作品に使われている。